

萩市企業景況調査

DI方式

平成30年 7月～9月期 実績
平成30年 10月～12月期 予測

DI (ディフュージョン・インデックス) 方式とは?
DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。
◎DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)
※設備投資は割合(%)

《調査機関》萩商工会議所

景況、先行きに停滞感

景況の概要

平成30年10月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。(調査対象企業：萩市内60社、回収率93%)

生産・売上 前期比は、建設業とサービス業が増加、それ以外の業種は減少となった(平均▲7.1%)。前年同期比も、建設業とサービス業が増加、それ以外の業種は減少となった(平均▲26.8%)。今後(10～12月期)の見通しでは、卸売業と小売業が横ばい、それ以外の業種は増加すると予測(平均23.2%)。

収益 前期比は、建設業とサービス業は増加、それ以外の業種は減少(平均▲16.1%)。前年同期比は建設業が横ばい、それ以外の業種は減少(平均▲35.7%)している。今後の見通しでは、卸売業と小売業が減少すると予測し、それ以外の業種は増加すると予測(平均8.9%)。

資金繰り 前期比は、建設業が好転、サービス業が横ばいで、それ以外の業種は悪化(平均▲10.7%)。今後の見通しでは、観光関連業が好転、建設業と卸売業が横ばい、それ以外の業種は悪化と予測している(平均▲7.1%)。

従業員数 全業種で不足感があるという結果となった。

経営上の問題点 ①人材の確保難 27.3%、②需要の停滞 25.5%、③設備・店舗の老朽化 12.7%の順となった。

今後の業界動向 各業界の景気見通しは、サービス業が横ばい、それ以外の業種は停滞と予測。特に小売業が▲85.7%と指数が大きい。

景況に関する生の声 ■荒天等による原料不足(海産物加工)。■7月は自然災害、8月は異常気象の影響が大きかった(精肉卸、大型店、特産品販売)。■公的受注の減少(事務用品卸)。■観光客の減少により売上が低下している(水産卸、旅館)。■利率の良い商材が動かない(特産品販売)。■賃金、経費すべてにおいて資金繰りが困難(特産品製造販売)。■仕入価格の上昇による販売価格の高騰で需要が低下(燃料販売)。■歴史的遺産だけではなく、観光客が訪れたいと思う新しい施設を望む(旅客運送)。

項目 / 業種		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均
生産・売上	前期比	40.0	▲12.5	▲20.0	▲25.0	20.0	▲50.0	▲7.1	20.0	12.3
	前年同期比	20.0	▲12.5	▲60.0	▲50.0	10.0	▲70.0	▲26.8	▲5.5	▲36.8
	30年10月～12月期見通し	30.0	25.0	0.0	0.0	50.0	30.0	23.2	29.1	3.5
収益	前期比	10.0	▲25.0	▲10.0	▲37.5	10.0	▲50.0	▲16.1	0.0	8.8
	前年同期比	0.0	▲25.0	▲60.0	▲37.5	▲20.0	▲70.0	▲35.7	▲5.5	▲21.1
	30年10月～12月期見通し	30.0	12.5	▲10.0	▲37.5	30.0	20.0	8.9	7.3	▲8.8
資金繰り	前期比	10.0	▲12.5	▲20.0	▲25.0	0.0	▲20.0	▲10.7	0.0	▲14.0
	30年10月～12月期見通し	0.0	▲25.0	0.0	▲25.0	▲10.0	10.0	▲7.1	7.3	▲14.3
従業員数 30年9月末		50.0	12.5	40.0	37.5	20.0	40.0	33.9	40.0	31.6
設備投資	(実績)	20.0	12.5	20.0	37.5	30.0	10.0	21.4	25.5	26.3
	(計画)	10.0	37.5	20.0	37.5	30.0	0.0	21.8	23.6	14.0
業界動向		▲30.0	▲37.5	▲70.0	▲85.7	0.0	▲40.0	▲41.8	▲16.4	▲42.1